

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330331070	社会的養護Ⅱ Social CareⅡ	黒谷万美子			1	選択	3前期

科目の概要
この科目はDP2.3に記載されている子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。多様な問題を抱えた子ども達の児童福祉施設における養護の基本理念を理解し、具体的な援助内容、方法について演習を通して理解を深めると同時に施設の保育者に求められる倫理・資質を学ぶ。保健師として行政・企業・健康保険組合に20年間勤務し、健康教育・保健指導等行ってきた。家族支援を含めた健康支援活動の経験を生かした講義(演習・実習)を行う。

学修内容	到達目標
① 社会的養護における児童の権利擁護と保育士等の倫理及び責務について学修する ② 社会的養護の実施体系(施設養護・里親制度の特性及び実際)について学修する ③ 支援計画と事例検討(自立支援計画の作成、支援別事例検討)について学修する ④ 社会的養護にかかわる専門的技術について学修する ⑤ 社会的養護の課題と展望について学修する	① 社会的養護における児童の権利擁護と保育士等の倫理について具体的に理解し重要性を説明することができる。 ② 施設養護及び他の社会的養護の実際について理解し発表することができる。 ③ 個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について理解し自立支援計画を立案することができる。 ④ 社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術について理解し具体的事例に関する支援方法を発表することができる。 ⑤ 社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深め課題を考察し解決法や対処法を提案することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自分の役割を明確にして課題に取り組むことができる
	働きかけ力	
	実行力	それぞれの社会的養護の支援について知識・技術を確認し、グループごとに発表することができる
考え抜く力	課題発見力	グループの課題を明らかにしグループワークを進めることができる
	計画力	
	創造力	発表に向けて、自分達のテーマに合わせた効果的な計画作成をおこなうことができる
チームで働く力	発信力	支援計画に基づき分かりやすく発表するとともに、対象を理解して伝えることができる
	傾聴力	グループワークや発表時、内容確認や質問を行い正確に理解するとともに話しやすい状況をつくることことができる
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	グループワークにおいてグループのルールや約束を守りメンバーのサポートができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献
適宜プリントを配布する。

他科目との関連、資格との関連
他科目との関連:「社会的養護Ⅱ」は学科専門科目「保育の内容・方法に関する科目」として設定されており、「社会的養護Ⅰ」で獲得した知識・技術を活用する。その後に履修する「地域と子育て支援」の基礎となる科目である。
資格との関連:保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み積極的に授業に参加する 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み積極的に授業に参加する 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておく 積極的な個人ワーク、発表準備を行う <注意>出席・授業態度では、3回遅刻で1回欠席。10分以上の遅刻や早退、居眠りは欠席扱い、更に5回欠席で-10点とする(1回につき-2点)。私語が多く再三注意を受けるなど受講態度が良くないときには、その授業の出席を認めない場合がある。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	社会的養護の実際を理解し、具体的な自立支援計画立案や個人に応じた支援ができるかについて評価する。S:個人に応じた自立支援計画を立案し具体的な支援に繋げることができる。A:個人に応じた自立支援計画を立案し自立支援について述べるができる。B:自立支援計画を立案し、自立支援について理解することができる。C:自立支援計画や自立支援について理解することができる。F:Cのレベルに達していない 知識の獲得(施設養護及び他の社会的養護の実際について理解し発表する):50% 知識の活用(個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について理解し自立支援計画を立案する):30% 課題解決(社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深め課題を考察し解決法や対処法を提案する):20%	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓	自立支援計画立案及び施設別、支援別事例検討をグループワークで実施し発表を行う。積極的なグループワーク、ディスカッション参加と発表について社会人基礎力をいかに発揮するかを評価する。グループワーク後に自身の積極的なグループ活動の参加や発表等についてレポートによる自己評価を行い、グループワークの気づきを確認する。 知識の獲得(施設養護及び他の社会的養護の実際について理解し発表する):50% 知識の活用(社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術について理解し具体的事例に関する支援方法を発表する):30% 課題解決(社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深め課題を考察し解決法や対処法を提案する):20%		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	(主体性)指示がなくても課題に取り組むことができる (実行力)自立支援計画、社会的養護の支援方法及びグループワークについて理解することができる。 (課題発見力)自分の役割を明確にして課題に取り組むことができる。 (創造力)自分達のテーマに合わせた効果的な計画作成をおこなうことができる (発信力)発表することにより自分の役割を果たすことができる。 (傾聴力)発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。 (規律性)グループのルールや約束を守りメンバーのサポートができる	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験においての知識、グループワークと発表、授業での積極的発言の全て満足できる評価が得られる。つまり、社会的養護の内容を理解したうえで個人に応じた自立支援計画を立案し具体的な自立支援について理解できていることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。</p>	<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験においての知識、グループワークと発表、授業での積極的発言のある程度満足できる評価が得られる。つまり、社会的養護の内容を理解したうえである程度自立支援計画を立案し自立支援について理解していることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	社会的養護における児童の権利擁護、第三者評価事業について学習する 授業ガイダンス	・講義・DVD視聴	こどもの権利について自分の考えを述べることができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第1章) 復習:社会的養護について前期の内容、プリントを整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	社会的養護における保育士等の倫理及び責務について学習する 全国保育士倫理綱領・全国児童養護施設協議会倫理綱領	・講義・DVD視聴	援助を行ううえで不可欠な基本的理念・倫理について理解することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第2章) 復習:全国保育士倫理綱領・全国児童養護施設協議会倫理綱領を確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	社会的養護の実施体系(1)施設養護の特性及び実際について学ぶ	・講義・DVD視聴	具体的な援助計画を立案するうえで不可欠な基本的な援助方法について理解することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第3章) 復習:施設養護のプロセス(現状、問題点、展開内容、留意点)について整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	社会的養護の実施体系(2)里親制度の特性及び実際について学ぶ	・講義・DVD視聴・レポート提出(google classroom)	里親と養子縁組(施設における短期里親等の活用、施設における里親への支援)について理解することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第4章) 復習:里親と養子縁組制度について社会的養護の授業資料を確認し、復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	支援の計画と内容及び事例検討 (1)自立支援計画作成	・グループワーク及び発表	グループワークにより自立支援計画について理解しそれぞれの対象者における計画を記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第5章1.2) 復習:自立支援計画について本人、家族、地域社会それぞれについて計画を立案する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	支援の計画と内容及び事例検討 (2)日常生活支援に関する事例検討(乳児院)	・グループワーク及び発表	グループワークにより乳児院での日常生活支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第5章3.4) 復習:乳児院での日常生活支援について発表をふまえ不足している項目を整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	支援の計画と内容及び事例検討 (3)日常生活支援に関する事例検討(障害児入所施設)	・グループワーク及び発表	グループワークにより障害児施設での生活特性と日常生活支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第5章5.6) 復習:障害児施設での日常生活支援について発表をふまえ不足している項目を整理する6	90	
8	支援の計画と内容及び事例検討 (4)日常生活支援に関する事例検討(母子生活支援施設)	・グループワーク及び発表	グループワークにより母子生活支援施設での日常生活支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第5章7.8) 復習:母子生活支援施設での日常生活支援について発表をふまえ不足している項目を整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	支援の計画と内容及び事例検討 (5) 治療的支援に関する事例検討(情緒障害児短期治療施設)	・グループワーク及び発表	グループワークにより情緒障害児短期治療施設での治療的支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第5章9) 復習:情緒障害児短期治療施設での治療的支援について発表をふまえて不足している項目を整理する	90	
10	支援の計画と内容及び事例検討 (6) 自立支援に関する事例検討(児童養護施設)	・グループワーク及び発表・小テスト (google classroomを利用しフィードバック)	グループワークにより児童養護施設での自立支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第6章1) 復習:児童養護施設での自立支援について発表をふまえて不足している項目を整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	社会的養護にかかわる専門的技術について学ぶ ソーシャルワークにかかわる知識・技術	・グループワーク及び発表	グループワークにより個別援助技術、集団援助技術について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第6章2) 復習:個別援助技術、集団援助技術について発表をふまえて不足している項目を整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	社会的養護にかかわる専門的技術について学ぶ (1) 入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援(アドミッションケア)	・グループワーク及び発表	グループワークよりアドミッションケアについて記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第7章1) 復習:アドミッションケアについて発表をふまえて不足している項目を整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	社会的養護にかかわる専門的技術について学ぶ (2) 入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援(インケア)	・グループワーク及び発表	グループワークよりインケアについて記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第7章2) 復習:インケアについて発表をふまえて不足している項目を整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	社会的養護にかかわる専門的技術について学ぶ (3) 入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援(リビングケア、アフターケア)	・グループワーク及び発表	グループワークよりリビングケア・アフターケアについて記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第8章) 復習:リビングケア、アフターケアについて発表をふまえて不足している項目を整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	社会的養護の課題と展望 社会的養護施策の取り組み及び将来像	オンデマンド配信	今後の課題と対策について理解し自分の考えを述べることができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認(第9章) 復習:社会的養護の課題について整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力